

Q. 駅前図書館の運営方法は？

A. 直営の運営を念頭に考えている



ここを聞きました

- 平成26年度の予算編成について
- 駅前図書館について

川上 改めて駅前に図書館を整備することを確認したい。

市長 駅前が人が集まるのが最大のメリットであり、活字離れが進む中、多くの市民に利用してほしい。これから具体的な基本設計に入っていく。

川上 5月に大阪府寝屋川市の駅前図書館を視察してきた。駅前の再開発ビルの3階に市民ギャラリーと併設で整備されている。窓口業務の運営を民間に任せ、開館時間も柔軟に対応してサービスの向上に努めている。本市の運営方法はどのようにしていくのか。

教育次長 専門家の意見をいただき、先進図書館や民間ノウハウなどを学びながら、当面は直営の運営を念頭に考えている。



寝屋川市駅前図書館 書架の様子



寝屋川市駅前図書館 入り口

Q. 図書館建設の基本理念を問う

A. 知識のあふれる場、まちづくりの拠点機能を整備したい



ここを聞きました

- 高梁中央図書館について
- 成羽病院について
- 子育て支援について
- 各町内会での防災対策について

黒川 新図書館建設の基本理念を問う。

市長 知識のあふれる場、まちづくりの拠点機能を有すべきと考えている。今後、基本計画の中で考えさせていきたい。

成羽病院について

黒川 病院満足度調査の結果と、その活用方法について問う。

病院事務長 入院、外来患者について実施した。調査結果については各部署、プロジェクトチーム内で検討、改善を図っている。

子育て支援について

黒川 小児科の時間外診療について、市内の病院で診察できる体制が考えられないか。

健康福祉部長 医師会や備北保健所と連携協議を重ね検討していく。

黒川 高梁市内から産科がなくなると聞いているが、今後どのように考えていくのか方向性を問う。

健康福祉部長 県内外の産科医療情報を収集し、安心して出産できる環境を模索していきたい。

各町内会での防災対策について

黒川 9月の集中豪雨を参考として、災害時における町内会の防災体制の整備や周知徹底を行うべきではないか。

総務部長

最近の降雨は、局地的に短時間で大量に降り予測できないことが多い。防災計画の見直しでは、自主防災組織の育成等を掲げているが、町内会単位となると制度的なものが周知されていない。今後、周知に努め、制度的にも対応するよう見直していきたい。

Q. 周辺地域に対する政策の拡充を

A. 対応できない地域には職員を出向させる



ここを聞きました

- 市長2期目の公約について
- 県道新見川上線改良について
- 湯野地域の防火対策について
- 地域振興基金について

市長2期目の公約について

川上 周辺地域に対する政策がいつ見えるのか。

産業経済部長 周辺地域のインフラ整備は必要と思う。道路、基盤整備を行い定住対策につなげたい。

川上 いつまで原材料支給の地域ボランティアで行政目的を達成しようとするのか。

産業経済部長 原材料支給や道路改良は、地元からの要望書の提出を基本としており、地元のご意見を反映した中で事業執行している。しかし、高齢化や人口減少など、合併後地域の実情や状況も変化している。こうした中で、個々の事業実施に当たっては、担当者がその地域の状況等を確認した上で支給するなり、要望に応じてい

る。今後いろいろな観点から地域に出向き、相談・協議を行いながら事業執行に努めていきたい。

県道新見川上線改良について

川上 新見市側の改良はほぼ完了しようとしているが、高梁市側の残りの部分について県に早急な対応を求めるべきではないか。

産業経済部長 県道新見川上線は西部総合開発基幹道として位置付けられており、11月12日に岡山県に建設促進期成会として改良要望を行っている。また、高梁地域事務所に対しても2回の要望を行っている。平成26年度は用瀬橋から一の谷まで1.3kmにわたり用地測量を行うこととなっている。

Q. 現在進行している中央図書館建設計画は考え直すべきではないか

A. 基本設計を進める中でご理解をいただけるよう努力したい



ここを聞きました

- 新図書館について
- 西部土木事務所について
- 成羽高校跡地の利用について

柳井 中央図書館建設に当たっては、図書館にふさわしい建設場所や環境、教育・学術・文化に果たす役割と機能などの基本理念がなくてはならないと思う。3月以降、何の修正案も改善策も示されな

いまま貴重な時間と市民の血税が浪費されている。市長は自分自身が描いた構想を正当化し、建設に向けてひたすらに我が道を進んでいる。これでは市民の理解が得られないし、さまざまな批判も聞いている。何度か開催されたワークショップでは市民の意見を集約できておらず、現状では建設計画が否定されているように見受けられるが、市長はどう考えているのか。

市長 図書館の建設場所、機能等についてはいろいろなご意見をいただいている。高梁市にふさわし

い、後世の子どもたちのために必要な機能を備えた図書館、交流拠点にしたいという考えで建設場所を決定した。今後、基本設計を進めていく中でご理解をいただけるよう努力したい。

柳井 中央図書館は必要だと思いが、市長が求める図書館より、市民が求める図書館を建設することが「人・まち・自然にやさしい高梁」と言えるのではないかと。

市長 中央図書館とは、中核となる機能を持つ図書館であると考えている。全てのご意見を取り入れることはできないが、中核となる、高梁市らしい図書館を建設したい。